

トークライブ 「低炭素社会と楽しく向き合う方法」

マエキタミヤコ

富永秀一

(コーディネーター) 古田智子

古田 低炭素社会を楽しむ方法についてこれからお話を伺っていきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは改めまして、先生方、お話をありがとうございました。途中から私も、司会進行でありながらクイズに参加して、全然できなかつたのですが、大変勉強させていただきました。ありがとうございます。それでは皆様、ご質問はお書き頂けましたでしょうか。会場に今、ボックスが回っていると思います。そろそろボックスを回収いたしましょう。あまりにも先生方の熱の入ったご講演を頂いたおかげで、だんだん時間が押してまいりました。多少押してしまうかもしれません、皆様方のご質問には極力答えていきたいと思います。

富永 どんどん行ったほうがいいと思います。

マエキタ ありがとうございます皆さん。ある意味で、一番のエコは民主主義を豊かにすることだと思いますので、どんどん質問して頂くというのが一番のエコなんです。そう言っているからには、いっぱい答えなくちゃと思います。

古田 今、皆様の質問票が前にございますので、前に来たものから順次行きましょうか。

富永・マエキタ はい。

◆屋上緑化について

古田 「屋上緑化することによってどのような効果がありましたか」という質問です。

マエキタ 夏は涼しく冬は暖かいような気がします。一番は、あまり冷暖房をつけないようにしたんです。どうなったかというと、最初の年、隣のマンションから移ってきたものだから、子供は寒い寒いと言って。我が家は朝起きて、布団の中で、はあっと息を吐くと、白い煙がわあっと出る。猫もにやあと鳴くと、猫の口からも白い息が出るという位寒かったんですけど、風邪を引かなくなったりです。最初の年、次の年はきつかったのですが、3年目位から、急にそんなに冬でも寒くない。夏もそれほど暑くない。気のせいかなというと、それは体質改善だねという。科学的に分からぬけれども、あり得るんだと思って、自己治癒力というか、体温調節機能が鍛えると上がるのかと。子供は文句を言わなくなりました。これが実は大変大きい効果ではないか。そのかわり、冬はうちは湯たんぽです。湯たんぽを入れてあげるのをすごく心待ちにしていて、私が働いているから夜遅く帰ってくると、子供達が「湯たんぽ湯たんぽ」と騒ぐ。で、「はいはい」と湯たんぽを作つてあげて、布団に入れてあげるとすぐ寝るという、ちょっとほほ笑ましい家族の交流になっています。

この調子だと終わらないですね。

◆食生活について

富永 私への質問です。「肉食断ちの具体的な内容はその効果は」ということですが。私が何故やめたかというと、CO₂や水といったものが肉を生産するにはたくさん必要だということで、いつかやめたいなと思っていたのです。それが、3年位前になりますか、私は愛知県から来たのですが、愛知の方から、船の中で海外研修をしながら、10何日間位過ごすという研修船に乗った際に、40代の時、40日以上の断食を2回やったという先生がいらっしゃいました。その先生と一緒だったので、では、この船に乗っている間は肉を食べないで過ごしてみますと言って、チャレンジしてみました。私は、肉を食べなくなると力が出なくなる、病気になりやすくなるかなと思ったのですが、全然なかったのです。全く体力が衰えることもないし、普通に過ごせるし、だったら肉をやめちゃっても全然問題ないかなということで、もう3年位経ちます。全然肉を食べていない。

魚について言うと、データがなかなかないんです。一つ一つによって違うので。それで肉を食べない、魚も食べないと、出す料理がなくなるので、かみさんが困っちゃう。なので、魚は食べます。肉だけ、牛肉、豚肉、鶏肉などは食べないという形で、今はやっています。特に悪影響は何もない。お勧めしたいのは、ミートフリーマンデーといって、月曜日だけ肉を食べない日をつくりましょうという運動をポール・マッカートニーさんがやっていますが、そういう、週に1日だけ肉を食べない日をつくるという形でやり始めるといいかなと。肉1キロを食べないと、20tのタンクローリー1分の水が節約できます。そ

れだけ穀物を育てるのに水を使っています。それだけ効果が大きいと言えます。

◆放射性物質について

男性1 今の魚の話で1点。原発の問題で、放射性物質が相当ある。それはどういうふうに考えられますか。

富永 いろいろと調査もされていますが、やはり、全数調査ではなかったり、福島の場合には禁漁をやっていますが、やはりセシウムがどんどん南の方にも行っているという話もありますし、心配なので残念ながら東側方面の魚は食べないようにしています。自衛するしかないかなと思っています。

マエキタ ある先生が言っていたのは、海底にいるヒラメや貝類は、今は避けたほうがいいと言っていました。

富永 底にたまっているらしいですね。

マエキタ 小さいのから大きいのにだんだん移ってきたようです。いずれにしろ、全量調査をしている流通から買う。例えば「大地を守る会」や「生活クラブ」、その2社が有名ですが、そういうところで買うのがいいのではないかと思います。あとは、九州の方の魚が売れているみたいです。

男性1 近海漁は危ないと思いますが、アユ漁も、危ないですよね。

富永 そうなんですよ。それから、日本から出たのが、アメリカでもセシウムなどが検出されていますが、その間の太平洋、広い所に7～8割は落ちているわけです。それが拡散しているとはいって、いずれは生物濃縮という形で、各国で検出されるようになってくるのではないかというのが心配です。何てことをしてくれたんだと思います。

マエキタ 本当です。しばらくは自衛、自分

の身は自分で守るというのが大事です。原発関係の質問が一個ありましたね。「原発はCO₂排出量が少ないという説に対してどう考えますか」。これは、安全神話の時はそうでしたが、既にコスト計算をやり直していて、特にCO₂削減という観念からすると、原発が壊れたのは電気が停まったからで、それだけ電気も必要だし、つくるのに資材も必要だし、ウランを掘るにも、エネルギーも労力も、いろいろなものを使いますので、決してCO₂削減に優れているとはいえないと思います。環境負荷が大き過ぎる。

富永 数字上、CO₂削減になるとしても、それでもやはり、あまりにも事故が起きた時のリスクが大き過ぎると思います。代償が大きい。

最悪の場合になる直前で、何とか済んでいます。本当に最悪の状態になっていたら、東日本には住めなくなる状態になるところでしたから。福島第一の放射性物質はまだ、1%位しか出てないんですよ。それでこれですから、本当に最悪の状態になる直前だったので、そこまでのリスクを考えると、やめた方がいいという気がします。

マエキタ そうですよね。ドイツでは、メリットはわかるよ、お湯を沸かしてタービンを回すのが原子力だから。でも別に原子力で回さなくても、お湯を沸かしてタービンを回す。ただ単に、最初の熱源をどうするか。未来のエネルギーという言い方をしてしまうので、何かわからなくなるんだけれど、そうではなくて、ただ回すだけ。ただし、デメリットの方は、事故が起こると何が起こるかわからない。ドイツで何故、脱原発したかというと、その論理はすごいなと思ったのは、メリットはわかる、電気がつくれる。デメリットはわ

からない。それは科学者全員が言っている。わかるものとわからないもので、是非は論じられないので、絶対にやらない。そういうことを決めた。そのすごいロジック。不明だからやるという日本は、どういう論理なんだろうって思います。

富永 不明のままでやっていますからね。

マエキタ でも多分、やるっていう決定もしないですよ。要は、惰性でやっているだけだから。撤退するという判断ができたかできていないかの違いだなと思って、撤退ルールをつくろうというのが今の合い言葉。何より、情報開示をしよう。まだ情報開示していないですから。

富永 それこそリサーチをしっかりとやって、理詰めで、これはこうなんだとやっていくと、絶対に、原子力を続けるという選択はないんですよ。時間的にいつまでというのは、いろいろと議論があると思いますが。

マエキタ 電気会社がリサーチをやっている。だけどリサーチ結果を出さない。昔から出さない。

富永 しっかり最後までわかっていないのもいっぱいあると思います。

マエキタ それは、不問のまま進んでいる。不問で進めちゃいけませんよということに、今、改めてみんなが気がついているということだと思います。

原発関係を一気に片づけてしまうというのが賢いのではないでしょうか。

富永 原発関係はやり出すと切りがない。

マエキタ でも大分済ませています。「CO₂排出量が少ないとか言われているけれどもどう考えますか」。そんなこと、もはやないです。

富永 ないですよね。

マエキタ 原発がCO₂削減になると思う人は手を挙げて下さい。

富永 それはわからないですね。正確に全部、いわゆるウランの採掘とか。放射性廃棄物の最終処理がわかっていないから、廃棄をどうするかによって変わるから答えられないですよ。

マエキタ では感覚的に。

富永 今、わかっている数字だと、だから、こうなるというデータもあるわけです。

マエキタ 手を挙げてみよう。会場の皆さん、原発はエコだと思う人。エコじゃないという人。ありがとうございました。

男性2 電力会社があまりにも、公開していない。

マエキタ 情報をですね。その通りだと思います。

男性2 だからわからないんですよ、本当は。本当はわからないんだけれども、私はエコではないと思っている。

マエキタ 私もそう思います。でも、エコだったら、データを出していますよねと思いませんか。

男性2 そうです。

マエキタ エコじゃないから出してないんじゃないの。だってエコだったら出せばいいのに。

男性2 エコに見えるというところだけデータを出しているわけです。

マエキタ 原発は危険。でも、危険だったらエコじゃないと思うな。

男性3 エコの定義をはっきりさせないと。

マエキタ 持続可能かどうかということですね。サステナブルかどうか。人類というものが生き延びられるかどうかというのを、私はエコの定義にしています。持続可能な社会。

低炭素というのは、持続可能な社会。

◆風力発電について

男性4 私は東大名誉教授の先生とメル友です。その方が言ってらっしゃったのは、私も始めはわからなかったのですが、風力は皆、風光明媚な所でやっている。あれはバルト海で、一方的に風が吹いているからいいんだけど。

マエキタ 風力発電のお話ですね。

男性4 風力。東京湾の、都知事がやっている、無料で船を使って、お台場や埋め立て地を回る。その時に、これはデンマーク製で1億円とか言います。ところがちゃんと羽が回っていない。つまり、さっき言ったけど、バルト海は一方通行の風がずっと続いている。そんなところの風車を日本は使っているんですよ。

富永 それは風車のせいではない。風量の調査がうまくいってなくて、回っていない風車が日本にはいっぱいあるんですよ。残念ながら。例えば北海道や日本海側など風のいい所はいっぱいあるんです。そこにたくさん造ればいいと思うのですが。

男性4 風車によっては、倒れちゃっているものもある。

富永 そういうのもありますね。それは風が強過ぎて。

マエキタ 今まで、風力というのは、試しにやってみよう的なところが多いので、アリバイ作りというのもあって、あんまり本気じやなかったかもしれない。でもこれからは本気なので、再生可能エネルギー促進法が通りました。7月から施行ですから、それ以降、建設するとしてもアセスメントしないといけないから2～3年後からですね。でも10

本末満位だったら、すぐに建てられますから、村とか市とかでしたらすぐ建てられますから、是非村とか市とか、過疎地は特に、過疎債がありますので、どんどんみんなで建てて。ただし、それは風量調査をしてから建てる。

風況ポールを建てるのも100万とか300万とか、1000万とかするのですが、それをやった方がいい。でもやらずに、佐賀の電気屋さんは、勘で自分で建てて、すごく儲けています。1億円の風車を1000万で中古で買って、インターネットで接続して、本社に設定してもらって、それで200軒分をずっと九州電力に売っているという。

男性5 身近なもののお話を。

マエキタ でも風車も、身近にして下さい。

◆省エネ住まいについて

富永 「省エネのポイントは窓ではないですか。窓対策をぜひお勧め」。これは確かに、窓がすごく効果がある。なので、シングルの、1枚のガラスの場合には、そこに内窓をつけるだけで、全然快適性が違ってきます。冷暖房もよく効くようになりますし、結露もなくなります。日本では、残念ながら、非常に人に厳しい家が多くて、窓に結露するのが当たり前と考えられていると思いますが、先進国では、大体、窓に結露ができない。すべての窓に全部ペアガラスできちんと断熱をやれば結露も起きないし、1階でも2階でもどこへ行っても温度がほとんど変わらないという家にできています。対照的だなと思った。私も前に住んでいた家は、家の中で息が白くなる。氷が張る。しもやけだらけ、夏はあせもだらけになった。ちょうど家を建てる時に、とにかく省エネ性能をしっかりとさせて、他のところの飾りは全部省略して、省エネ性能

をしっかりとやったので、今、家のどこへ行っても、外気温が15℃変化するときでも1℃しか家の中は変わらない。脱衣所でも居間でも2階でもどこでも一緒なので、いわゆるヒートショックという、居間は暖かいけどお風呂に行ったら寒い、湯船に入ると暖かい、また外に出ると寒いということで、心臓や脳に負担がかかったりして亡くなる方が多いのですけれども、そういう心配もない。長生きできるし家も長持ちする。コストも冷暖房費が下がるので、その建設費が増えた分と大体同じ位になる。なので、できるだけそういう家を増やしていきましょうということをやっています。余裕を楽しむというとまた少し違いますが、いろいろなアプローチがあつていいかなと思います。

マエキタ OMソーラー(Oは「おもしろい」、Mは「もったいない」を意味している)ですね。

富永 OMソーラーは、気密性が実はいまいち。

マエキタ そうそう。気密させなくて、パッシブソーラーといって、屋根の熱をとって、床下で暖めてというものもある。パッシブソーラー協会と、工務店の人たちがいろいろとそういうものを取り入れている。熱利用というのは、節電よりもすごく大事で、実は熱利用というのは、電気で暖めるのではなくて、直接、例えば太陽の熱や、間伐材を使ってそれを燃やすストーブですとか、そういうものを使う。

富永 最近は地中熱を利用するというのも出ています。地中は、ずっと温度が安定していますので、夏は大気よりも冷たいし、冬は大気よりも温かい。その地中の熱を利用しようというのも今出てきています。

古田 宴もたけなわでございますが、あと一つだけ。お二人へという質問がございます。

◆オーガニックと農薬について

マエキタ 「オーガニックやりサイクルは実際には高コストだという意見はどう説得すればいいか」という質問がございます。最初は高コストでしたが、かなり普及ってきて、普通のスーパーにも入ってきたので、もうそんなに違わない。旬のものは安いし、旬でないものは高いけれども、あまりそれほど違わない時期になってきていると思います。だけど人間の頭って、最初にインプットされるのが強いから、導入期は3割ぐらい高かったけれども、今はそうでもない。おもしろいのは、ヨーロッパは3倍位高かったらしいです。日本は、最初からオーガニックをつくる農家さんがたくさんあったからなのか、流通が頑張ったからなのか、2~3割高だった。

富永 コストが安いほうがいいという価値観も、変えていかなければいけないと思います。これまでずっと低コスト低コストを選んでいたがために、デフレになってきたわけだし、それによって、いわゆる豊かな暮らしがどんどん失われたところもあります。これもオーガニックだとか、ちょっと一手間二手間かけたものがなかなか選ばれにくいというふうになりますので、価値観を、いいものに対してはちゃんと対価を払っていくということに変えていく必要があるのではないか。それが今のデフレを脱却していく方向性の、一つの方法、それだけではないと思いますが、それになるのではないかと思います。説得する必要はないのではないかと思います。コストを重視する、あるいは、どんどん効率を上げていく方向性もあるし、豊かさを楽しむとい

う方向性もありだと思う。要するに、低炭素社会を楽しむ方法も、多様性があつていいんじゃないかなと思います。どういう方向で楽しむのか、どういう方向で追求するのか。それぞれが「私はこうやりたい」という方法でやればいいんじゃないかなと思います。

男性6 有機野菜というのはいいと思いますが、僕は個人的には、無農薬野菜で十分だと思います。科学はどんどん発達していますから、有機堆肥と同じようなものを人工的につくるというのも可能らしいです。

マエキタ 私もその感覚がわかります。農薬は怖いです。肥料に関しては、極論を言ってしまえば、肥料をやらなくても作れるといいねとか、不耕地というのもあると思います。確かにそうかもしれません。

富永 それもオーガニックじゃないという人もいますので、そこがやっぱり多様性です。

マエキタ オーガニックって、無農薬っていうことでしょう。

富永 いや、無農薬で、有機肥料ですね。なので、有機肥料まで行かなくても、無農薬で十分じゃないのという人もいるし、低農薬でいいんじゃないのという人もいていいと思う。誰かを言い負かそうとか、こうしろということじゃなくて、私はこう思いますというふうにみんなが思っている社会でいいんじゃないかな。

マエキタ でも私が一つ言いたいのは、ネオニコチノイド系の農薬は、ミツバチがいなくなるから危険だと思う。カメムシ駆除で今、すごく流行っている。温暖化でカメムシが増えたからといって、本当にいっぱい種類が出ているのですが、これは、ハチがいなくなる原因だと言われていて、どうしたらいいんですかと専門家の人に言ったら、農薬は調べる

のにすごく時間がかかる。日本の専門家はすごく真面目なので、多分、ネオニコチノイド系は随分、調べるのに順番が先になるし、調べるにしても時間がかかるから、それまでにミツバチがいなくなっちゃうのが心配だったら、地方自治体で条例を作つて、とりあえずネオニコチノイドは使わないようにしようって、みんなで言うほうが多いよと言われました。ですから、本当に自衛として、それこそ東京特別区では使わないとかいうふうに、あるいはなるべく使わないで下さいというお知らせを出すとかをやつた方がいいと思います。

富永 だから、本当に危険性があると思われるものに関しては、多様性とは言つていられないで、きちんと規制をして、やめていかないといけない。

マエキタ でも、予防原則で、疑わしきは使わずというのが、正しいです。国連でも5年位前からなので結構新しい。昔は、疑わしきは使っていたんです。だけど、疑わしきを使つていると、調べている間に被害が広がる可能性があるから、疑わしきは使わずというふうに変わつた。

富永 本当に問題になつた時に、その影響が大きいものはもうやめちゃいましょうということですね。

マエキタ 本当にというか、どつつかわからぬというものは使わないという。

◆最後に

古田 ますますヒートアップしてまいりまして、このままですと、もう2時間3時間続いてしまいそうな勢いでございます。大変名残惜しうございますが、この辺で、一旦、「低炭素社会を楽しもう！」を終了とさせて

頂きます。

マエキタ 残った質問にはメールアドレスを書いて頂けましたら、2人で分けて、メールでご返事します。

古田 ありがとうございます。今日取り上げることができなかつた質問票を書いて頂いた方、一旦締めましてから、前へお越し頂けますでしょうか。メールアドレスを書いて頂きましたら、先生方が責任を持ってご回答下さることですので、是非よろしくお願ひ致します。

先生方、どうもありがとうございました。

マエキタ・富永 ありがとうございました。

古田 今日、先生方から頂いた内容は、皆様方の低炭素ライフをより楽しいものにして頂くヒントとなれば、これに勝る喜びはございません。以上を持ちまして、講演会終了でございます。

ありがとうございます。